



写真 2-1-4.1 調査方法（ルートセンサス）

(3) 調査対象とした外来種

調査は、「沖縄県対策外来種リスト」に掲載されている「重点対策種」、「対策種」、「重点予防種（現時点では掲載種なし）」、「予防種」を主な調査対象種とした。また、「沖縄県対策外来種リスト」に掲載されていない種で、県内に広く分布していると考えられる外来種や、今後分布の拡大が懸念される種など（以降「リスト外」と表記）も確認した時点で調査対象種として追加した。

表 2-1-4.3 リスト外で調査対象とした外来種一覧

No.	科名	和名	学名
1	モクマオウ科	カニンガムモクマオウ	<i>Casuarina cunninghamiana</i>
2	カバノキ科	ハンノキ	<i>Alnus japonica</i>
3	マメ科	デリス	<i>Derris elliptica</i>
4		タヌキコマツナギ	<i>Indigofera hirsuta</i>
5		クロバナツルアズキ	<i>Macroptilium atropurpureum</i>
6		ナンバンアカバナアズキ	<i>Macroptilium lathyroides</i>
7		コメツブウマゴヤシ	<i>Medicago lupulina</i>
8		ウマゴヤシ	<i>Medicago polymorpha</i>
9		シナガワハギ	<i>Melilotus suaveolens</i>
10	フウロソウ科	アメリカフウロ	<i>Geranium carolinianum</i>
11	カタバミ科	ムラサキカタバミ	<i>Oxalis corymbosa</i>
12	トウダイグサ科	カワリバトウダイ	<i>Euphorbia graminea</i>
13	ムクロジ科	フウセンカズラ	<i>Cardiospermum halicacabum</i>
14		タイワンモクゲンジ	<i>Koelreuteria elegans ssp. formosana</i>
15	ブドウ科	キッスス シキオイデス	<i>cissus sicyoides</i>
16	アカバナ科	コマツヨイグサ	<i>Oenothera laciniata</i>
17	ヒルガオ科	ヨウサイ	<i>Ipomoea aquatica</i>
18		ヒメノアサガオ	<i>Ipomoea obscura</i>
19		ホシアサガオ	<i>Ipomoea triloba</i>
20		キクザアサガオ	<i>Ipomoea pes-tigridis</i>
21		ツタノハヒルガオ	<i>Merremia hederacea</i>
22		バラアサガオ	<i>Merremia tuberosa</i>
23		ミミバフサアサガオ	<i>Merremia umbellata</i>
24		フウセンアサガオ	<i>Operculina turpethum</i>
25	クマツツラ科	ヒルギダマシ	<i>Avicennia marina</i>
26	ナス科	ヤコウカ	<i>Cestrum nocturnum</i>
27	キツネノマゴ科	ハイグロフィラ属の一種	<i>Hygrophila sp.</i>
28		ミズフジ（ウオーターウイステリア）	<i>Hygrophila cf. difformis</i>
29		ベニツツバナ	<i>Odontonema strictum</i>
30		ケブカルイラソウ	<i>Ruellia squarrosa</i>
31	ウリ科	アメリカスズメウリ	<i>Melothria pendula</i>
32	キク科	オオアレチノギク	<i>Conyza sumatrensis</i>
33		テンニンギク	<i>Gaillardia pulchella var. picta</i>
34		ヒロハホウキギク	<i>Symphotrichum subulatum var. squamatum</i>
35	イネ科	パラグラス	<i>Brachiaria mutica</i>
36		ジュズダマ	<i>Coix lacryma-jobi</i>
37		アフリカギョウギシバ	<i>Cynodon nlemfuensis</i>
38		ヒメオニササガヤ	<i>Dichanthium annulatum</i>
39		エラグロスティス テヌイフォリア	<i>Eragrostis tenuifolia</i>
40		ツノアイアシ	<i>Rotboellia exaltata</i>
41	サトイモ科	アオミツバカズラ	<i>Synгонium podophyllum</i>
42	ツユクサ科	ハカタカラクサ	<i>Zebrina pendula</i>
43	アヤメ科	トウショウブ	<i>Gladiolus × gandavensis</i>

※アフリカギョウギシバについてはJung et al. (2009)を参考とした。

エラグロスティス テヌイフォリアについてはJung et al. (2008)を参考とした。

カワリバトウダイ、アメリカスズメウリ、ミミバフサアサガオについては、植村ら編著 (2015) を参考とした。

ハイグロフィラ属の一種、ミズフジ(ウオーターウイステリア)については、同定に参照すべき資料が見つからなかったため、いずれも属止めとしている。

(4) 平成 31 年度（令和元年度）調査結果

a) 調査日

本年度の調査実施日を以下に示す。

調査は、既往の調査実施時期と合わせて秋季～冬季に実施した。

表 2-1-4.4 調査実施日

	調査地区（ルート数）	調査日
平成 31 年度 … 令和 元 年度 (85 ル ー ト)	多良間島 (22)	令和元年 11 月 18 日～21 日
	伊計島 (2)	令和元年 11 月 22 日
	宮城島 (4)	令和元年 11 月 22 日
	古宇利島 (4)	令和元年 12 月 2 日
	屋我地島 (10)	令和元年 12 月 2 日、6 日
	粟国島 (8)	令和元年 12 月 4 日、5 日
	伊是名島 (13)	令和 2 年 1 月 6 日、7 日
	伊平屋島 (13)	令和 2 年 1 月 8 日～10 日
	野甫島 (2)	令和 2 年 1 月 9 日
渡名喜島 (7)	令和 2 年 14 日、15 日	

b) 調査実施場所

本年度調査は、沖縄諸島の宮城島（4 ルート）、伊計島（2 ルート）、屋我地島（10 ルート）古宇利島（4 ルート）、渡名喜島（7 ルート）、粟国島（8 ルート）、伊是名島（13 ルート）、伊平屋島（13 ルート）、野甫島（2 ルート）、宮古諸島の多良間島（22 ルート）の 10 島、計 85 ルートで実施した。調査したルートについては以下の図に示す。

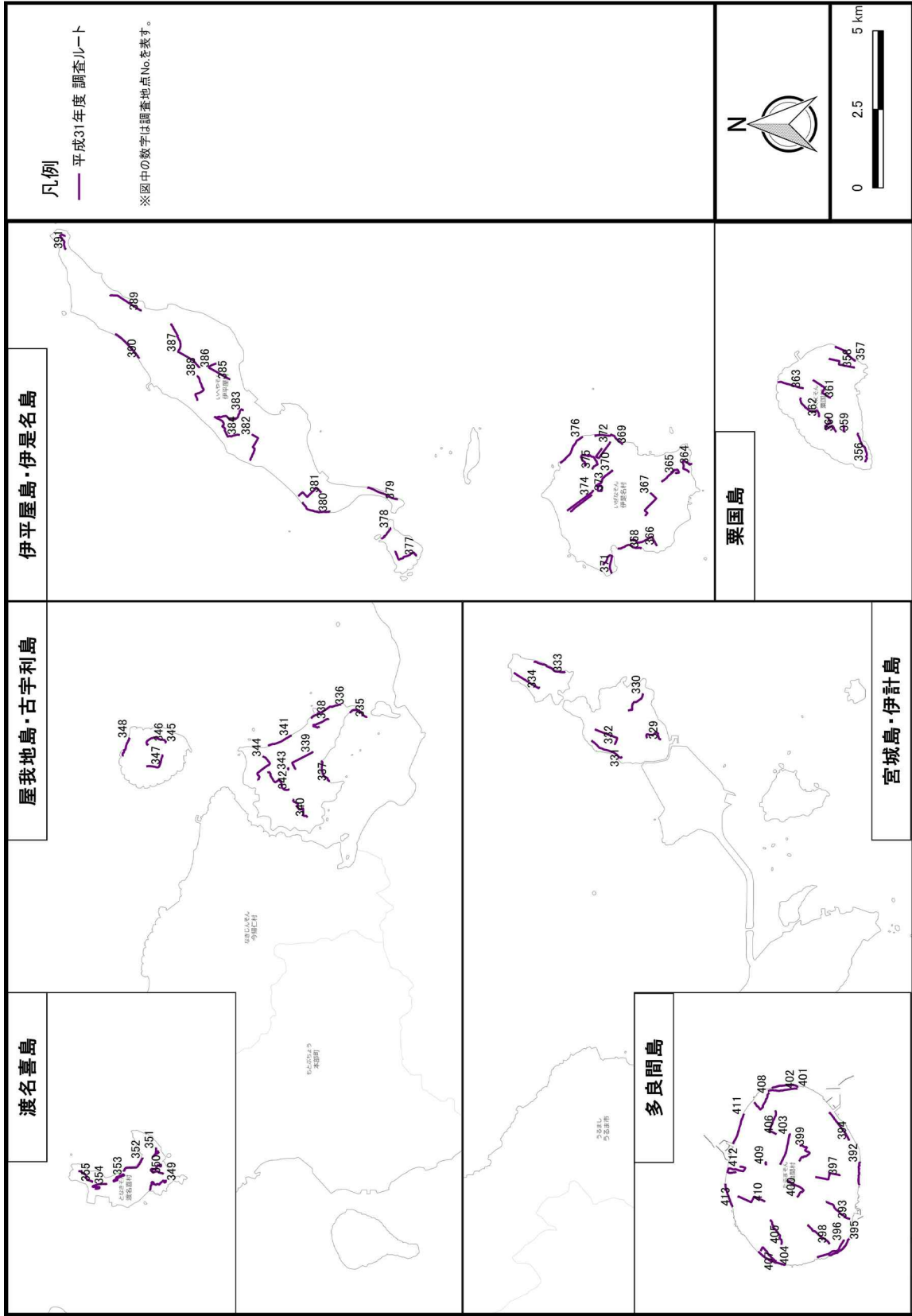


図 2-1-4. 1 平成 31 年度の調査実施ルート位置図

c) 調査結果

本年度調査における島別の外来種確認箇所数の一覧を次頁の表に示す。なお、本年度調査結果の詳細については、過年度調査結果とともに表 2-1-4.5 に示す。以下に本年度調査結果の概要を示す。

- ・重点対策種であるアメリカハマグルマは 16 ルートで確認された。環境区分としては、草地/耕作地、林縁での確認が主で、「非常に多い」とされたルートは無かった。
- ・同じく重点対策種のツルヒヨドリは確認されなかった。
- ・対策種で最も多くの地点で確認されたのはアワユキセンダングサ類で 82 ルートと一部の湿地と林内のルートを除く大部分のルートで確認された。次いで、ギンネム (65 ルート)、トクサバモクマオウ (50 ルート) 及びナピアグラス (47 ルート) が全体の半数以上の地点で確認された。
- ・対策種について地域別に特徴的な種を見てみると、多良間島においてミスミトケイソウが 9 ルートで確認され他の地域と比べ多くなっている。同様に、多良間島のヤナギバルイラソウ、コフウセンカズラ、屋我地島・古宇利島のムラサキタカオススキ、伊平屋島・野甫島のアメリカネナシカズラ、アオノリュウゼツランなどが他地域よりも多く確認されている。
- ・リスト外の外来種では、コマツヨイグサ、ヒメオニササガヤ、ヒロハホウキギク、ムラサキカタバミなどが多くの地点で確認された。
- ・特徴的な出現傾向を示す種としては、多良間島のクロバナツルアズキ、エラグロスティス テヌイフォリア、屋我地島・古宇利島のアメリカズメウリなどが挙げられる。
- ・屋我地島の干潟で確認されたヒルギダマシについては、宮古諸島以南では在来種として分布しているが、沖縄島周辺のものは国内（県内）外来種である。屋我地島での生息状況は、「非常に多い」とされ、周辺生態系への影響が懸念される。また、一昨年に実施した調査で、同じ羽地内海の「羽地の駅」ルートでも確認されており、おそらく屋我地島から分散したものと考えられ、他地域への更なる分布拡大の可能性についても注意する必要がある。
- ・環境省選定の「日本の重要湿地」に掲載されている伊平屋島の田名池では、ホテイアオイとともにリスト外のパラグラスが「非常に多い」として確認されている。パラグラスは水辺でよく繁茂し、河原など覆いつくすように生育することからその影響は小さくないと考えられる。

表 2-1-4.5 島別外来種確認箇所数（平成 31 年度）

区分	No	種名	平成31年度/令和元年度						総計 (85)		
			宮城・伊計 (6)	屋我地・古 宇利 (14)	渡名喜島 (7)	粟国島 (8)	伊是名島 (13)	伊平屋・野 甫 (15)		多良間島 (22)	
重点 対策種	1	アメリカハマグルマ	3	4	3		2	1	3	16	
	2	ツルヒヨドリ								0	
対策種	3	アワユキセンダングサ類	6	13	7	7	13	14	22	82	
	4	ギンネム	6	11	6	7	11	8	16	65	
	5	トクサバモクマオウ	2	8	4	4	9	10	13	50	
	6	ナピアグラス	2	8	5	5	9	9	9	47	
	7	タチスズメノヒエ	5	8	3	3	9	5	2	35	
	8	モンツキガヤ	5	5	6		5	8	4	33	
	9	ギネアキビ	3	4		4	4	1	15	31	
	10	ツルムラサキ	5	7		4	1		11	28	
	11	カッコウアザミ	1	7			6	4	4	22	
	12	ソウシジュ	2	4	2	2	1	1		12	
	13	アメリカネナシカズラ	1	1			3	7		12	
	14	ミスミトケイソウ				1			9	10	
	15	アオノリュウゼツラン			1	1		4	2	8	
	16	シチヘンゲ	1				4	1	1	7	
	17	ケツメクサ				2	2		3	7	
	18	ムラサキタカオススキ		5			2			7	
	19	ヤナギバルイラソウ			1	1			4	6	
	20	コフウセンカズラ							5	5	
	21	ホテイアオイ		2				2	1	5	
	22	オウゴンカズラ		3			1			4	
	23	モミジヒルガオ	1	2				1		4	
	24	シュロガヤツリ		1			2			3	
	25	セイロンベンケイ		1					1	2	
	26	ヒメトケイソウ		2						2	
	27	フトボナガボソウ					1			1	
	28	コゴメミズ		1						1	
	29	アカザカズラ				1				1	
	30	ドラゴンフルーツ		1						1	
	31	ジュズサンゴ	1							1	
	32	タワダギク					1			1	
	リスト外	33	コマツヨイグサ	2	6	6	2	9	7	2	34
		34	ヒメオニササガヤ	5	3		6	2	2	14	32
35		ヒロハホウキギク	4	8	2	3	7	5		29	
36		ムラサキカタバミ	4	7	1	4	2	1	8	27	
37		アフリカギョウギシバ	1	1		3	7	2	9	23	
38		アメリカフウロ	1	7	1		6	5	2	22	
39		パラグラス	5	7			5	3		20	
40		ツノアイアシ	4	4	1	4			7	20	
41		ホシアサガオ	3	5		1	4	1	3	17	
42		カニガムモクマオウ	1	1	1	3	1	2	4	13	
43		コメツブウマゴヤシ	2	2	2		1	4		11	
44		ウマゴヤシ	1				7	2	1	11	
45		クロバナツルアズキ		1				2	5	8	
46		アメリカスズメウリ	1	5			1			7	
47		エラグロステリス テヌイフォリア					1		5	6	
48		ナンバンアカバナアズキ	1				2		1	4	
49		シナガワハギ		1	1		1			3	
50		アオミツバカズラ	1	1		1				3	
51		カワリバトウダイ		1		1				2	
52		ヒメノアサガオ							1	1	
53		ヨウサイ						1		1	
54		ジュズダマ		1						1	
55		ハカタカラクサ							1	1	
56		ヒルギダマシ		1						1	
57		キクザアサガオ							1	1	

※1：島名・地区名下括弧内の数字は調査ルート数を表す。

(5) 県内の外来植物の生育状況について（既往調査結果を含めたとりまとめ）

平成 29 年度、平成 30 年度及び本年度（平成 31 年度）調査において、沖縄島と県内の主要な有人離島の大部分で外来植物の生育状況を把握することができた。これまで 3 年間の調査結果をとりまとめて以下に示す。

a) 調査日程

調査は下記の日程で実施した。

表 2-1-4.6 調査実施日

	調査地区（ルート数）	調査日
平成 29 年度 (189 ルート)	沖縄島南部 (22)	平成 30 年 1 月 24 日～26 日、29 日
	沖縄島中部 (26)	平成 30 年 1 月 30 日、31 日、2 月 13 日、14 日
	沖縄島北部 (25)	平成 30 年 2 月 15 日、16 日、3 月 19 日、20 日
	渡嘉敷島 (17)	平成 30 年 3 月 14 日、15 日
	座間味島 (8)	平成 30 年 3 月 12 日
	阿嘉・慶留間島 (9)	平成 30 年 3 月 13 日
	伊江島 (12)	平成 30 年 3 月 9 日、10 日
	久米島 (19)	平成 30 年 2 月 19 日～21 日
	宮古島 (38)	平成 30 年 2 月 26 日～28 日、3 月 1 日、2 日
	伊良部・下地島 (13)	平成 30 年 3 月 5 日、6 日
平成 30 年度 (139 ルート)	西表島 (24)	平成 30 年 10 月 17 日～19 日、平成 31 年 1 月 21 日～23 日
	与那国島 (16)	平成 30 年 11 月 26 日～28 日
	石垣島 (36)	平成 30 年 12 月 3 日～7 日、20 日、21 日
	小浜島 (7)	平成 30 年 12 月 17 日
	黒島 (6)	平成 30 年 12 月 18 日
	波照間島 (8)	平成 30 年 12 月 19 日、20 日
	北大東島 (13)	平成 31 年 1 月 13 日～15 日
	鳩間島 (5)	平成 31 年 1 月 24 日
	竹富島 (7)	平成 31 年 1 月 25 日
	南大東島 (17)	平成 31 年 2 月 5 日～8 日
平成 31 年度 (85 ルート)	多良間島 (22)	令和元年 11 月 18 日～21 日
	伊計島 (2)	令和元年 11 月 22 日
	宮城島 (4)	令和元年 11 月 22 日
	古宇利島 (4)	令和元年 12 月 2 日
	屋我地島 (10)	令和元年 12 月 2 日、6 日
	粟国島 (8)	令和元年 12 月 4 日、5 日
	伊是名島 (13)	令和 2 年 1 月 6 日、7 日
	伊平屋島 (13)	令和 2 年 1 月 8 日～10 日
	野甫島 (2)	令和 2 年 1 月 9 日
	渡名喜島 (7)	令和 2 年 14 日、15 日

b) 調査実施場所

調査は、平成 29 年度に 189 ルート、平成 30 年に 139 ルート、平成 31 年度（令和元年度）に 85 ルート、計 413 ルートにおいて実施した。調査したルートについては以下の図に示す。

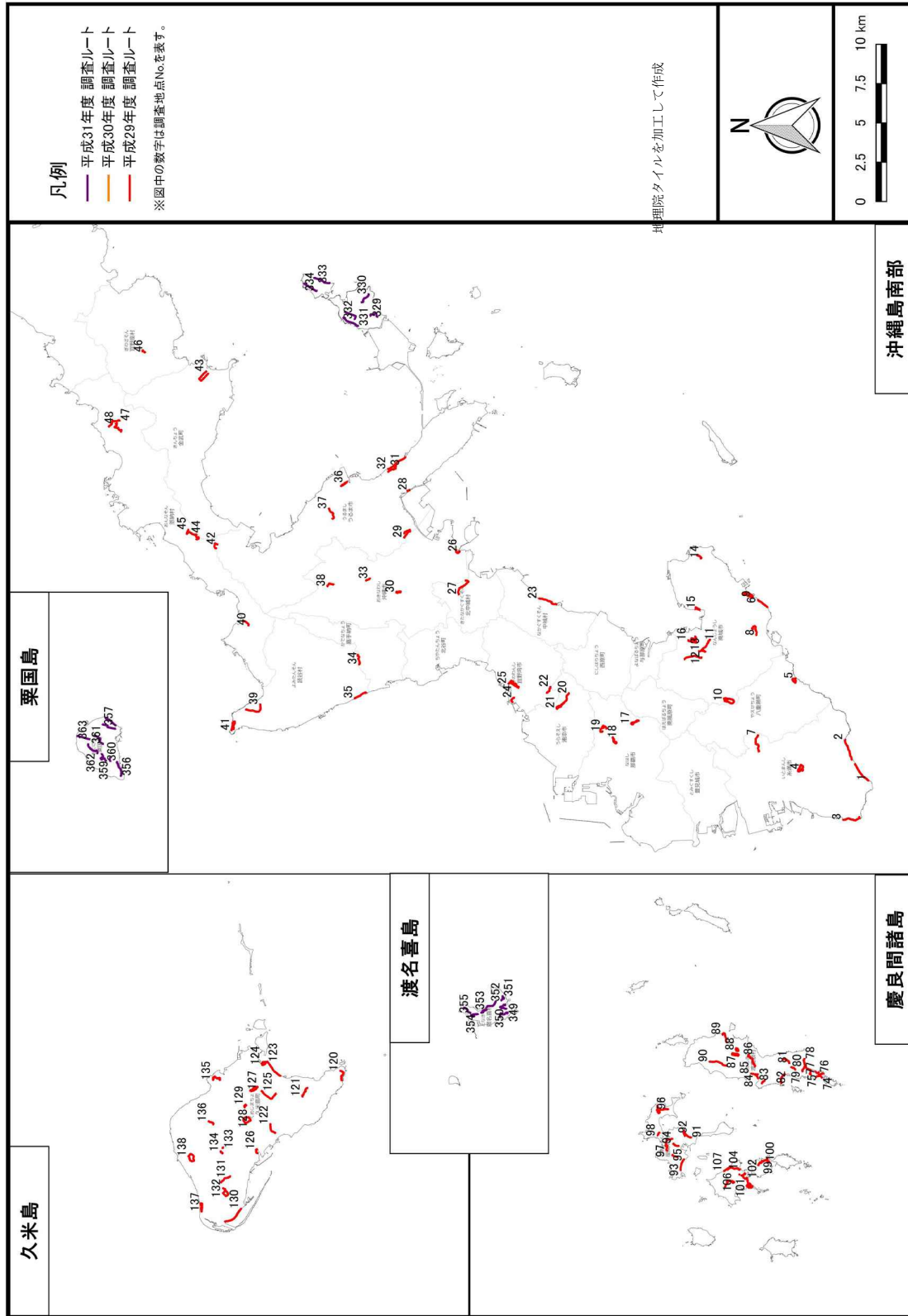


図 2-1-4.2 (1) 平成 29 年度～平成 31 年度の調査実施ルート位置図

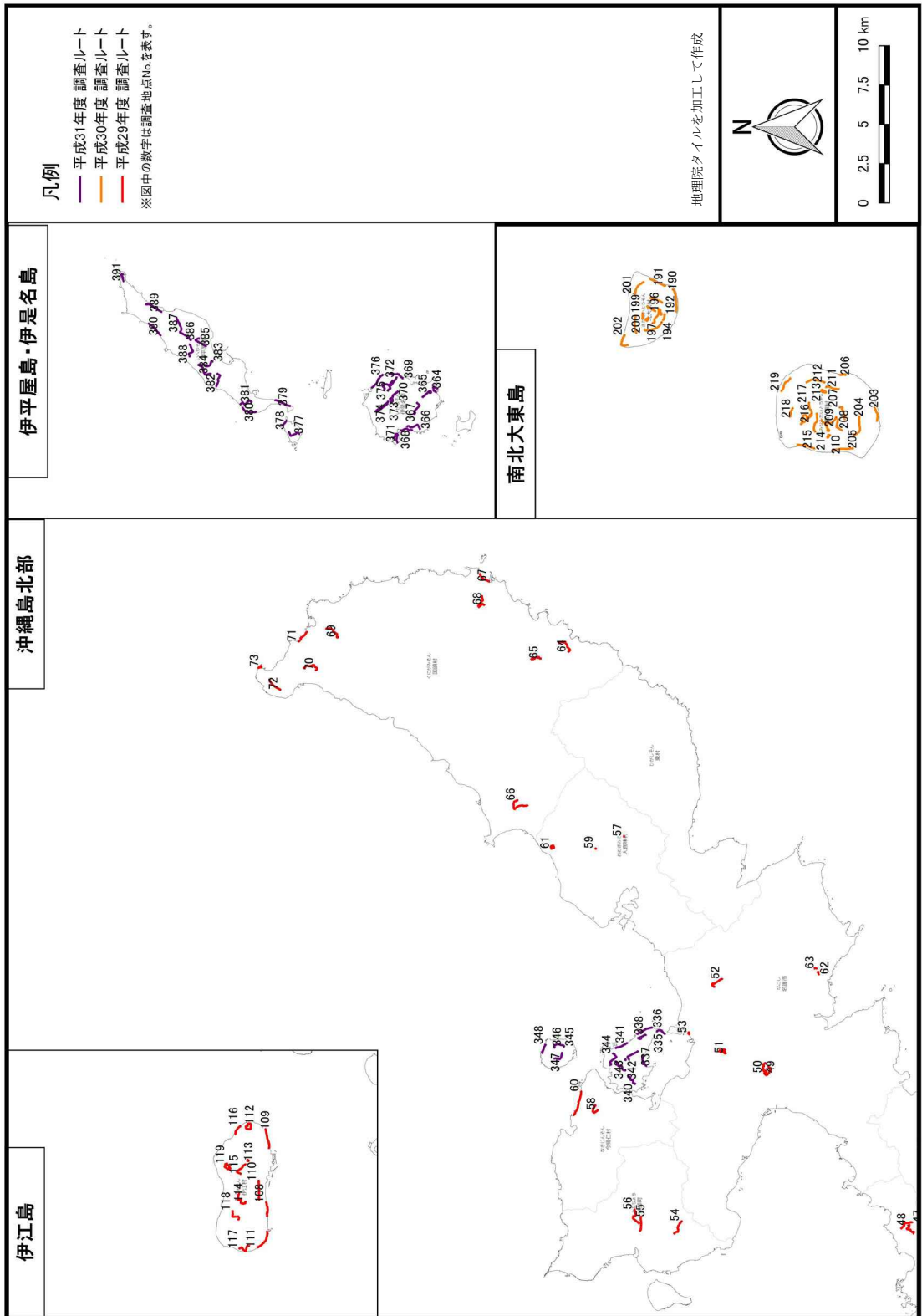


図 2-1-4.2 (2) 平成 29 年度～平成 31 年度の調査実施ルート位置図

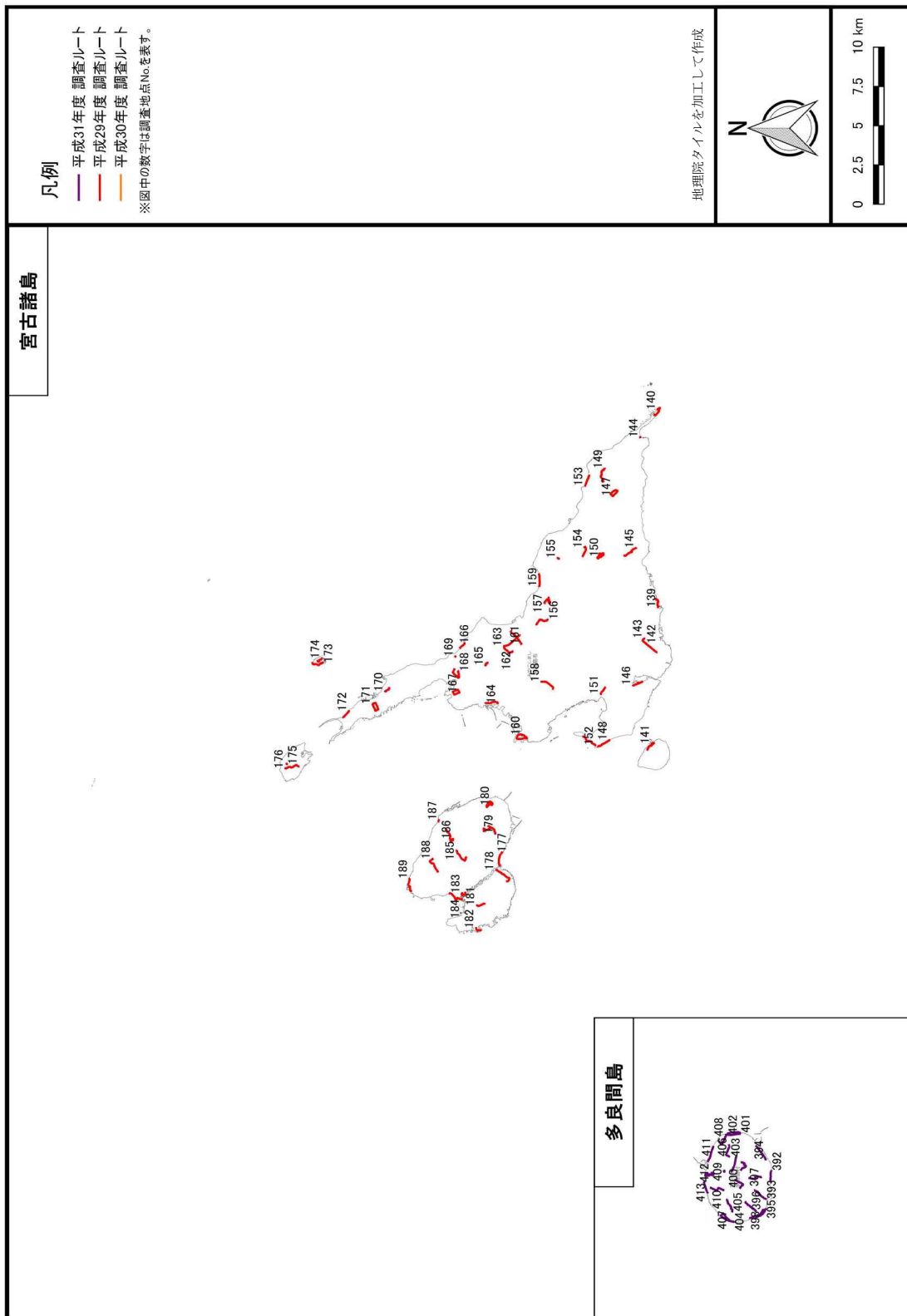


図 2-1-4.2 (3) 平成 29 年度と 30 年度の調査実施ルート位置図

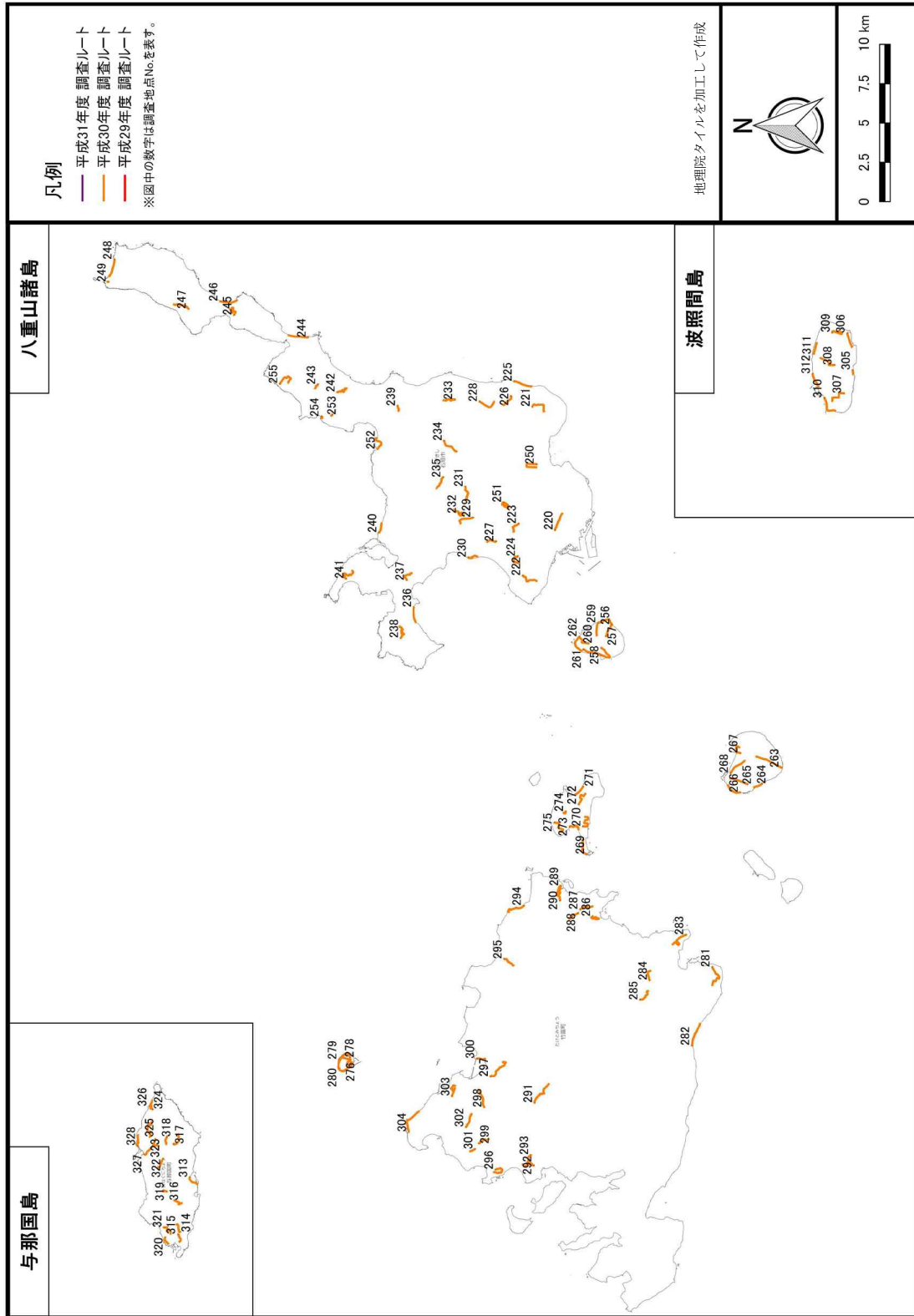


図 2-1-4.2 (4) 平成 29 年度と 30 年度の調査実施ルート位置図

c) 調査結果と考察

c-1 確認状況の概要

調査対象とした外来種の島別の確認状況を表 2-1-4.7 に示す。また、地区別の出現率を表 2-1-4.8 に示す。

- ・重点対策種のアメリハマグルマは、全 413 ルート中 122 ルート (29.5%) で確認された。
- ・アメリハマグルマは調査した全ての環境で確認され、伊良部島・下地島、波照間島・粟国島を除く調査地域で確認された。伊良部島・下地島においても生育は確認しており、調査ルートに生育していなかったために調査結果から漏れたものと考えられる。
- ・アメリハマグルマは、沖縄島等での出現率が突出して高く、次いで八重山諸島での出現率も高くなっている。一方で、沖縄諸島他や南北大東島での出現率は低かった。
- ・重点対策種のツルヒヨドリは、全 413 ルート中 22 ルート (5.3%) で確認された。
- ・ツルヒヨドリは沖縄島以外に石垣島と与那国島で確認された。また、調査ルートではないが、西表島においても生育を確認している。海岸や塩性湿地では確認されず、河川、湿地、草地/耕作地、林縁、森林環境で確認され、生息規模としても“多い”以上示したルートが多かった。
- ・対策種のアワユキセンダングサ類、ギンネム、トクサバモクマオウ、ナピアグラスは 200 ルート以上 (50%以上) で確認され、全ての調査地区、環境区分で確認された。これら以外の種と比較しても突出して高い出現率を示した。
- ・ムラサキタカオススキは沖縄島中部以北、渡嘉敷島、座間味島で確認されていたが、今回の調査で伊是名島においても生育が確認された。南北大東島、宮古諸島、八重山諸島では確認されていない。
- ・ミスミトケイソウは、久米島、宮古諸島 (多良間島含む) 及び八重山諸島で確認されており、宮古諸島 (37.0%)、八重山諸島 (12.8%) では高い頻度で確認された。沖縄島での生育も確認しているが、今回対象とした調査ルートには生育していなかった。南北大東島では確認されなかったものの、同じトケイソウ科のクサトケイソウが南北大東島のみで確認されている。
- ・南北大東島ではギンネムとトクサバモクマオウの出現率が他地域よりも高い傾向が認められた、一方、宮古諸島や八重山諸島で高い割合を示したギネアキビについては 10%と低い割合であった。
- ・対策種リストには入っていないものの、高い確率で確認されたのが、コマツヨイグサ、ヒメオニササガヤ、ムラサキカタバミ、コメツブウマゴヤシ、パラグラス、アフリカギョウギシバナなどであった。
- ・パラグラスは水辺などで優占し、他の植物が侵入できないほどの密生した群落を作るため、生態系への影響が懸念される。
- ・クロバナツルアズキ、ナンバンアカバナアズキ、ツノアイアシなどは、先島諸島を中心に比較的高い出現傾向を示していることから、今後留意する必要があるものと考えられる。
- ・沖縄島を中心に近年分布を拡大していると考えられていたアメリカスズメウリについては、一連の調査において、石垣島で分布を拡大しているのが確認された他、伊是名島でも生育が確認された。

表 2-1-4.7 (1) 外来種の確認箇所数一覧

区分	No	種名	平成29年度調査										平成30年度調査										平成31年度/令和元年度						総計 (413)		
			沖縄島 南部 (22)	沖縄島 中部 (26)	沖縄島 北部 (25)	渡嘉敷 島 (17)	渡間味 島 (8)	阿嘉・ 慶留間 (9)	伊江島 (12)	久米島 (19)	宮古島 (38)	伊良 部・下 地 (13)	北大東 島 (13)	南大東 島 (17)	石垣島 (38)	竹富島 (7)	黒島 (6)	小浜島 (7)	鳩間島 (5)	西表島 (24)	渡良間 島 (8)	与那国 島 (16)	宮城・ 伊計 (6)	鹿我 地・古 宇利 (14)	渡名喜 島 (7)	栗国島 (8)	伊是名 島 (13)	伊平 野・野 青 (15)		多良間 島 (22)	
重点 対策種	1	アメリカハマグルマ	13	17	14	2	2	1	1	1	1	1	1	19	1	1	1	5	1	8	4	3	4	3	2	1	3	122			
	2	ツルヒヨドリ	7	11	2									1															22		
	3	アウキセンダングサ類	19	21	21	16	8	3	12	14	34	11	11	13	33	7	5	7	5	19	7	14	6	13	7	7	13	14	22	362	
	4	ギンネム	19	18	15	7	7	1	12	14	35	12	13	15	30	7	5	7	3	16	7	11	6	11	6	7	11	8	16	319	
	5	トクサバモクマオウ	13	11	11	6	7	5	10	8	24	11	11	17	14	4	4	6	4	8	3	1	2	8	4	4	9	10	13	228	
	6	ナビアグラス	12	12	12	8	7	5	10	11	25	8	5	7	19	5	2	4	4	8	3	5	2	8	5	5	9	9	9	219	
	7	ギネアキビ	8	6	2	1	1	1	9	3	14	4	3	16	5	4	4	4	4	9	3	5	3	4	4	4	4	1	15	131	
	8	カッコウアザミ	6	5	12	2	1	4			6	1	3	8	17			3		13	2	1	1	7			6	4	4	111	
	9	タチスズメノヒエ	6	5	7	3	1				4	3	2	4	1	5	1	1	1	4	5	5	5	8	3	3	9	5	2	87	
	10	ツルムラサキ	6	2	1	1	1				2	4	6	7	6	1	3	1	3	2	3	3	5	7	4	4	1	1	11	86	
	11	ソウシユ	1	6	5	6	3	3	3	4	7	2	4	4	6	4	1	1	4	4	4	3	2	4	2	2	1	1	1	75	
	12	モンツキガヤ	1	5	1	1	1				3	2	6	6	6	1	4	3	4	3	1	5	5	5	6	5	8	4	66		
	13	シチヘンゲ	5	6	3	2	1	1	5	4	2	1	8	5	2	2	5	4	1	1	1	1	1	1	1	1	4	1	1	60	
	14	ヤナギバルイラソウ	8	4	2	1	1	1	1	10	1	1	2	5	2	8	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	4	47	
	15	シユロガヤツリ	6	6	4	1	2	3			4	2	8	8	4	4	2	4	4	4	4	2	2	1	2	2	2	2	2	45	
	16	フトボナガボソウ																													43
	17	ミスミトケイソウ	0	0	0																									43	
	18	ケツメクサ																												37	
	19	オウゴンカズラ	6	7	5	2	2																							36	
	20	アメリカネナシカズラ	6	6	2	1	1	1	1	1	8	2	1	2	3	4	1	1	1	3	2	3	1	3	2	2	2	1	3	34	
	21	コフセンカズラ	2	1	1	1	1	1	1	1	2	2	4	6	4	2	3	1	2	1	2	1	1	1	1	1	3	7	5	34	
	22	モミジヘルガオ	6	9	3	2	2																							34	
	23	セイロンベンケイ	3	2	1	1	1	2	3	1	3	1	1	1	1	2	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	25	
	24	アツバチトセラン	3	5	2	1	1	2	1	7	2	1	1	1	6	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	24	
	25	ココメミズ	3	4	2	2	2																							24	
	26	ムラサキタカオススキ	5	6	4	2	2																							24	
	27	アオノリュウゼツラン																												18	
	28	ホテイアオイ	3	1	2	2	1	1	4	3	3	3	1	1	2	1	1	1	1	1	3	3	2	2	1	1	2	2	1	17	
	29	フトモモ	3	1	2	2	1	1																						16	
	30	チリメンナガボソウ	3	1	2	2	1	1																						14	
	31	アカザカズラ	1	1	2	2	1	1																						14	
	32	クサトケイソウ	1	1	2	2	1	1																						12	
	33	ドラゴンフルーツ	1	2	2	2	1	1																						12	
	34	アフリカホウセンカ	3	1	4	4	1	1	1	1	2	2	4	8	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10		
	35	ジュズサンゴ	3	1	1	1	1	1																						8	
	36	コウトウタチバナ	1	1	2	2	1	1																						7	
	37	ボタンウキクサ	1	2	1	1	1	1																						7	
	38	セイヨウタンポポ	1	2	1	1	1	1																						6	
	39	園芸スイレン	1	1	1	1	1	1																						6	
	40	アメリカサトイモ	3	1	1	1	1	1																						4	

○ 調査ルート外で確認

表 2-1-4.7 (2) 外来種の確認箇所数一覧

区分	No	種名	平成29年度調査													平成30年度調査							令和元年度						総計 (326)							
			沖縄島南部 (22)	沖縄島中部 (26)	沖縄島北部 (25)	渡嘉敷島 (17)	産間味島 (8)	阿嘉・慶留間 (9)	伊江島 (12)	久米島 (19)	宮古島 (38)	伊良部・下地 (13)	北大東島 (13)	南大東島 (17)	石垣島 (38)	竹富島 (7)	黒島 (6)	小浜島 (7)	鳩間島 (5)	西表島 (24)	波照間島 (8)	与那国島 (16)	宮城・伊計 (6)	鹿地・古宇利 (14)	渡名喜島 (7)	粟国島 (8)	伊名島 (13)	伊平野・野青 (15)		多良間島 (22)						
対策種	41	タワダギク						1	2																										4	
	42	ムラサキカクコウアザミ		1																					1										4	
	43	ウチワゼキクサ	2						1																										3	
	44	ナガエツルノゲイトウ	1											1																					3	
	45	ヒメトケイソウ																							2										3	
	46	ベンガルヤハズカズラ	1																																3	
	47	外来アソラ類		3																															3	
	48	アメリカカズメノヒエ																			1														3	
	49	ヒマワリヒヨドリ																								1									3	
	50	オオワサモ																			2														2	
	51	キダチヨウセンアサガオ	1																		1														2	
	52	ゼニンサボテン										1																								2
	53	タチバナアテク	1																		1														2	
	54	ヒイラギギク	1																																	2
	55	オオサンショウモ																			2														2	
	56	アスバラガス属の一種																																	1	
	57	オオバナイトタスキモ																																	1	
	58	オオミツバカズラ	1																																1	
	59	ハナシユクシャ										1																								1
	60	ヤサイカラスウリ											1																						1	
	61	ウチワサボテン																																	1	
	62	トウ属の一種																																	1	
	63	ヨシノスギ																																	1	
	64	トリハバンジロウ																																	1	
	予防種	65	ヨルガオ																																	1
		66	ヨマツヨイグサ	4	4	5	11	6	5	7	6	18	6	5	4	11	5	1	3	4	7	3	5	2	6	6	2	9	7	2	154					
		67	ヒメオニササガヤ	7	4	1	1	2	1	6	6	16	5	1	7	16	3	3	5	2	7	5	7	5	3	6	2	2	14	137						
		68	ムラサキカタバミ	2	6	10	1	1	3	8	5	18	7	6	9	10	4	1	3	4	7	1	3	4	7	1	4	2	1	8	122					
		69	コメツウウチゴヤシ	3	5	7	4	1	2	11	7	16	8	5	6	9	3	2	2	2	2	5	2	2	2	2	2	2	4	111						
		70	ハラダラス	15	11	10	2	3	1	7	3	4	13	4	4	13	2	2	2	5	2	2	2	5	7	5	3	5	3	100						
		71	アフリカギョウギンバ	6	6	1	1	4		7	4	13				7	1	3	4	2	2	4	1	1	1	1	3	7	2	9	87					
		72	ヒロハホウキギク	2	1	1	1				5				4	16	1	1	3	2	7	3	4	4	8	2	3	7	5	83						
		73	カニンガムモクマオウ	2	6	7	1	2	1	1	4	13	4	4	4	9	1	1	3	2	3	2	1	1	1	3	1	2	4	76						
		74	アメリカフウロ	4	5	5	1	1	2	5	3	7	4	3	3	3	7	1	1	1	2	3		1	1	7	1	6	5	2	75					
		75	シナガワハギ	4	3	9	5	2		1	4	7	8	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	55						
76		ホシアサガオ	2	2	1					1	2	2	4	3	9	1	1	1	2	1	2	1	3	5	5	1	4	1	3	48						
77		ツノアザシ													3	12	3	3	4	3	2	4	4	4	1	4	1	7	47							
78		クロバナツルアズキ										6			3	11	3	1	4	3	3	2	4	4	1	4	2	5	42							
79		オオアレチノギク	1																															36		
80		ウマゴヤシ	3	2	1					1	5	3			2	3	2	1	3	5	3	4	1				7	2	1	31						

表 2-1-4.7 (3) 外来種の確認箇所数一覧

区分	No	種名	平成29年度調査												平成30年度調査							平成31年度/令和元年度						総計 (326)								
			沖縄島南部 (22)	沖縄島中部 (26)	沖縄島北部 (25)	渡嘉敷島 (17)	座間味島 (8)	伊嘉・慶留間 (9)	伊江島 (12)	久米島 (19)	宮古島 (38)	伊良部・下地 (13)	北大東島 (13)	北大東島 (17)	石垣島 (98)	竹富島 (7)	黒島 (6)	小浜島 (7)	鳩間島 (5)	西表島 (24)	波照間島 (8)	与那国島 (16)	宮城・伊計 (6)	鹿野・古宇利 (14)	渡名喜島 (7)	要国島 (8)	伊是名島 (13)		伊平屋・野間 (15)	多良間島 (22)						
リスト外	81	アメリカスズメウリ	5	12											4	4							1	5				1						28		
	82	ナンバンアバナアズキ													6	11								1					2					1	25	
	83	アオミツバカズラ	2	5	2						6	1				1								1					1						21	
	84	ヒメノアサガオ									3	5				5	3																		1	21
	85	カワリハトウダイ									7	1				2																			1	20
	86	エラグロス・テイス・テスイフオリア														5	2																			18
	87	ヨウサイ	1	2	1						1	1				4	2																		5	17
	88	ヤコウカ	5	4	1											2																				12
	89	ハンノキ			10																															10
	90	トウシヨウブ								3	1																									9
	91	ジュズダマ																																		5
	92	テンニンギク																																		5
	93	ハカタカラクサ	1																																	5
	94	ベニツツバナ	1	1	1																															5
	95	タヌキコマツナギ																																		5
	96	ヒルギダマシ																																		4
	97	タイワンモクゲンジ	2																																	4
	98	フウセンカズラ																																		2
	99	キツクス	1																																	1
	100	ケブカルイランウ	1																																	1
	101	デリス																																		1
	102	ハイグロフィラ属の一種																																		1
	103	ハラアサガオ	1																																	1
	104	ミスラジ (ウオーター・ウイステリア)																																		1
	105	ツタノハヒルガオ																																		1
	106	フウセンアサガオ																																		1
	107	ミミバフサアサガオ																																		1
	108	キクザアサガオ																																		1

※ 島名・地区名下括弧内の数字は全地点数を表す。

※ 網掛けはその他の外来種のうち、留意すべきと考えられる種を表す。

表 2-1-4.8 (1) 地域別の外来種出現状況

区分	種名	沖縄諸島 (201ルート)		(南北大東島 (30ルート))	宮古諸島 (73ルート)	八重山諸島 (109ルート)	総計 (413ルート)	
		※1 沖縄島及び近隣離島 (93ルート)	※2 沖縄諸島(他の離島) (108ルート)					
重点対策種	アメリカハマグルマ	51 (54.8)	13 (12.0)	2 (6.7)	17 (23.3)	39 (35.8)	122 (29.5)	
	ツルヒヨドリ	20 (21.5)				2 (1.8)	22 (5.3)	
対策種	アユキセンダングサ類	80 (86.0)	94 (87.0)	24 (80.0)	67 (91.8)	97 (89.0)	362 (87.7)	
	ギンネム	69 (74.2)	73 (67.6)	28 (93.3)	63 (86.3)	86 (78.9)	319 (77.2)	
	トクサバモクマオウ	45 (48.4)	63 (58.3)	28 (93.3)	48 (65.8)	44 (40.4)	228 (55.2)	
	ナビアグラス	46 (49.5)	69 (63.9)	12 (40.0)	42 (57.5)	50 (45.9)	219 (53.0)	
	ギネアキビ	23 (24.7)	22 (20.4)	3 (10.0)	33 (45.2)	50 (45.9)	131 (31.7)	
	カッコウアザミ	31 (33.3)	22 (20.4)	11 (36.7)	11 (15.1)	36 (33.0)	111 (26.9)	
	タチスズメノヒエ	31 (33.3)	29 (25.9)	5 (16.7)	7 (9.6)	16 (14.7)	87 (21.1)	
	ツルムラサキ	21 (22.6)	12 (11.1)	13 (43.3)	25 (34.2)	15 (13.8)	86 (20.8)	
	ソウシジュ	18 (19.4)	25 (23.1)	4 (13.3)	9 (12.3)	19 (17.4)	75 (18.2)	
	モンツキガヤ	17 (18.3)	27 (25.0)		7 (9.6)	15 (13.8)	66 (16.0)	
	シチヘンゲ	15 (16.1)	15 (13.9)		3 (4.1)	27 (24.8)	60 (14.5)	
	ヤナギバルイラソウ	14 (15.1)	4 (3.7)	2 (6.7)	15 (20.5)	12 (11.0)	47 (11.4)	
	シュロガヤツリ	17 (18.3)	12 (11.1)		2 (2.7)	14 (12.8)	45 (10.9)	
	フトボナゴボソウ		6 (5.6)			37 (33.9)	43 (10.4)	
	ミスミトケイソウ	○	2 (1.9)		27 (37.0)	14 (12.8)	43 (10.4)	
	ケツメクサ		4 (3.7)		5 (16.7)	15 (20.5)	13 (11.9)	37 (9.0)
	オウゴンカズラ	21 (22.6)	4 (3.7)	1 (3.3)	6 (8.2)	4 (3.7)	36 (8.7)	
	アメリカネナシカズラ	10 (10.8)	13 (12.0)		10 (13.7)	1 (0.9)	34 (8.2)	
	コフウセンカズラ	2 (2.2)		4 (13.3)	9 (12.3)	19 (17.4)	34 (8.2)	
	モミジヒルガオ	21 (22.6)	6 (5.6)			7 (6.4)	34 (8.2)	
	セイロンベンケイ	7 (7.5)	5 (4.6)	1 (3.3)	5 (6.8)	7 (6.4)	25 (6.1)	
	アツバチトセラン	8 (8.6)	4 (3.7)	2 (6.7)	9 (12.3)	1 (0.9)	24 (5.8)	
	コゴメミズ	10 (10.8)	2 (1.9)		3 (4.1)	9 (8.3)	24 (5.8)	
	ムラサキカタオススキ	16 (17.2)	8 (7.4)				24 (5.8)	
	アオノリュウゼツラン		12 (11.1)		2 (2.7)	4 (3.7)	18 (4.4)	
	ホテイアオイ	4 (4.3)	5 (4.6)	2 (6.7)	4 (5.5)	2 (1.8)	17 (4.1)	
	フトモモ	6 (6.5)				10 (9.2)	16 (3.9)	
	チリメンナガボソウ		1 (0.9)	1 (3.3)	1 (1.4)	11 (10.1)	14 (3.4)	
	アカザカズラ	4 (4.3)	1 (0.9)		4 (5.5)	3 (2.8)	12 (2.9)	
	クサトケイソウ			12 (40.0)			12 (2.9)	
	ドラゴンフルーツ	4 (4.3)		4 (13.3)	2 (2.7)		10 (2.4)	
	アフリカホウセンカ	7 (7.5)			2 (2.7)		9 (2.2)	
	ジュズサンゴ	5 (5.4)	2 (1.9)		1 (1.4)		8 (1.9)	
	コウトウタチバナ	2 (2.2)			2 (2.7)	3 (2.8)	7 (1.7)	
	ボタンウキクサ	3 (3.2)	1 (0.9)	1 (3.3)		2 (1.8)	7 (1.7)	
	セイヨウタンポポ	4 (4.3)			1 (1.4)	1 (0.9)	6 (1.5)	
	園芸スイレン	2 (2.2)		2 (6.7)		2 (1.8)	6 (1.5)	
	アメリカサトイモ	4 (4.3)					4 (1.0)	
	タワダギク		4 (3.7)				4 (1.0)	
	ムラサキカッコウアザミ	1 (1.1)				3 (2.8)	4 (1.0)	
	ウチワゼニクサ	2 (2.2)			1 (1.4)		3 (0.7)	
	ナガエツルノゲイトウ	1 (1.1)				2 (1.8)	3 (0.7)	
ヒメトケイソウ	3 (3.2)					3 (0.7)		
ベンガルヤハズカズラ	1 (1.1)			2 (2.7)		3 (0.7)		
外来アゾラ類	3 (3.2)					3 (0.7)		
アメリカスズメノヒエ					3 (2.8)	3 (0.7)		
ヒマワリヒヨドリ					3 (2.8)	3 (0.7)		
オオフサモ	2 (2.2)					2 (0.5)		
キダチチョウセンアサガオ	2 (2.2)					2 (0.5)		
センニンサボテン		1 (0.9)	1 (3.3)			2 (0.5)		
タチバナアデク	1 (1.1)	1 (0.9)				2 (0.5)		
ヒイラギギク	2 (2.2)					2 (0.5)		
オオサンショウモ			2 (6.7)			2 (0.5)		
アスバラガス属の一種	1 (1.1)					1 (0.2)		

 他地域に比べ高い出現状況の地域
 他地域に比べ低い出現状況の地域
 ○ 調査ルート外で確認

表 2-1-4.8 (2) 地域別の外来種出現状況

区分	種名	沖縄諸島 (201ルート)		(南北大東島 (30ルート))	(宮古諸島 (73ルート))	(八重山諸島 (109ルート))	(総計 (413ルート))
		※1 沖縄島及び近隣諸島 (93ルート)	※2 沖縄諸島(他の離島) (108ルート)				
調査地区区分							
対策種	オオバナイトタヌキモ	1 (1.1)					1 (0.2)
	オオミツバカズラ	1 (1.1)					1 (0.2)
	ハナシュクシャ	1 (1.1)					1 (0.2)
	ヤサイカラスウリ				1 (1.4)		1 (0.2)
	ウチワサボテン					1 (0.9)	1 (0.2)
	トウ属の一種					1 (0.9)	1 (0.2)
	ヨシスキ					1 (0.9)	1 (0.2)
	テリハバンジロウ			1 (3.3)			1 (0.2)
予防種	ヨルガオ					1 (0.9)	1 (0.2)
リスト外	コマツヨイグサ	21 (22.6)	59 (54.6)	9 (30.0)	26 (35.6)	39 (35.8)	154 (37.3)
	ヒメオニササガヤ	20 (21.5)	26 (24.1)	8 (26.7)	35 (47.9)	48 (44.0)	137 (33.2)
	ムラサキカタバミ	29 (31.2)	26 (24.1)	15 (50.0)	33 (45.2)	19 (17.4)	122 (29.5)
	コメツブウマゴヤシ	19 (20.4)	32 (29.6)	11 (36.7)	24 (32.9)	25 (22.9)	111 (26.9)
	バラグラス	48 (51.6)	21 (19.4)	4 (13.3)	3 (4.1)	24 (22.0)	100 (24.2)
	アフリカギョウギシバ	15 (16.1)	27 (25.0)		22 (30.1)	23 (21.1)	87 (21.1)
	ヒロハホウキギク	15 (16.1)	23 (21.3)	8 (26.7)		37 (33.9)	83 (20.1)
	カニンガムモクマオウ	17 (18.3)	15 (13.9)	7 (23.3)	17 (23.3)	20 (18.3)	76 (18.4)
	アメリカフウロ	22 (23.7)	24 (22.2)	6 (20.0)	13 (17.8)	10 (9.2)	75 (18.2)
	シナガワハギ	17 (18.3)	14 (13.0)	1 (3.3)	15 (20.5)	8 (7.3)	55 (13.3)
	ホシアサガオ	13 (14.0)	7 (6.5)	7 (23.3)	5 (6.8)	16 (14.7)	48 (11.6)
	ツノアイアシ	8 (8.6)	5 (4.6)	3 (10.0)	7 (9.6)	24 (22.0)	47 (11.4)
	クロバナツルアズキ	1 (1.1)	2 (1.9)	3 (10.0)	11 (15.1)	25 (22.9)	42 (10.2)
	オオアレチノギク	1 (1.1)				35 (32.1)	36 (8.7)
	ウマゴヤシ	7 (7.5)	15 (13.9)	2 (6.7)	4 (5.5)	3 (2.8)	31 (7.5)
	アメリカスズメウリ	23 (24.7)	1 (0.9)			4 (3.7)	28 (6.8)
	ナンバンアカバナアズキ	1 (1.1)	2 (1.9)	6 (20.0)	1 (1.4)	15 (13.8)	25 (6.1)
	アオミツバカズラ	11 (11.8)	1 (0.9)	1 (3.3)	7 (9.6)	1 (0.9)	21 (5.1)
	ヒメノアサガオ			5 (16.7)	9 (12.3)	7 (6.4)	21 (5.1)
	カワリバトウダイ	4 (4.3)	1 (0.9)		8 (11.0)	7 (6.4)	20 (4.8)
	エラグロスティス テヌイフォルア	1 (1.1)	1 (0.9)		5 (6.8)	11 (10.1)	18 (4.4)
	ヨウサイ	4 (4.3)	2 (1.9)		1 (1.4)	10 (9.2)	17 (4.1)
	ヤコウカ	10 (10.8)				2 (1.8)	12 (2.9)
	ハンノキ	10 (10.8)					10 (2.4)
	トウショウブ		8 (7.4)		1 (1.4)		9 (2.2)
	ジュズダマ	2 (2.2)	1 (0.9)			2 (1.8)	5 (1.2)
	テンニンギク	1 (1.1)			1 (1.4)	3 (2.8)	5 (1.2)
	ハカタカラクサ	1 (1.1)			4 (5.5)		5 (1.2)
	ベニツツバナ	3 (3.2)			1 (1.4)	1 (0.9)	5 (1.2)
	タヌキコマツナギ					5 (4.6)	5 (1.2)
	ヒルギダマシ	4 (4.3)					4 (1.0)
	台湾モンクゲンジ	2 (2.2)					2 (0.5)
	フウセンカズラ			2 (6.7)			2 (0.5)
	キッサ シキオイデス	1 (1.1)					1 (0.2)
	ケブカルイラソウ	1 (1.1)					1 (0.2)
	デリス	1 (1.1)					1 (0.2)
ハイグロフィラ属の一種	1 (1.1)					1 (0.2)	
バラアサガオ	1 (1.1)					1 (0.2)	
ミスフジ (ウォーターウイステリア)	1 (1.1)					1 (0.2)	
ツタノハヒルガオ					1 (0.9)	1 (0.2)	
フウセンアサガオ					1 (0.9)	1 (0.2)	
ミミバフサアサガオ					1 (0.9)	1 (0.2)	
キクザアサガオ				1 (1.4)		1 (0.2)	

他地域に比べ高い出現状況の地域

c-2 「予防種」の確認状況

平成29年度に実施した調査では、平成30年3月末時点で「沖縄県対策外来種リスト（案）」で「予防種」とされていた外来種の逸出を複数確認した。確認状況を環境区別、地区別に以下の表に示す。なお、ここで予防種とされていた種については、平成30年8月の「沖縄県対策外来種リスト」の公表に、「予防種」から「対策種」へ移行しており、最終的な調査結果では、「対策種」として取り扱っている。

また、平成30年度調査では、「予防種」に含まれている種を新たに1種（ヨルガオ）確認した。

平成29年度調査で、コウトウタチバナ（4ルート）、ベンガルヤハズカズラ（3ルート）、外来アゾラ類（3ルート）、タチバナアデク（2ルート）、キダチチョウセンアサガオ（2ルート）、園芸スイレン（2ルート）及びオオバナイトタヌキモ（1ルート）が、平成30年度調査でヨルガオ（1ルート：外来ノアサガオ類として）、コウトウタチバナ（3ルート）及び園芸スイレン（4ルート）が確認された。これらの内いくつかの種は、公園内などの管理地内で確認されたが、繁茂状況等を考慮し、逸出状態にあると判断した。なお、平成31年度はこれらに該当する種は確認されなかった。

表 2-1-4.9 調査で逸出が確認された「予防種」

区分	種名	平成29年度調査										平成30年度調査										確認箇所数			
		沖縄島南部			沖縄島中部				沖縄島北部			宮古島				南大東島		石垣島							
		中山	真境名	牧港川	コンベンションセンター	大山	北中城	照間イグサ水田	億首	県民の森（1）	音信原	大保川周辺溜池	座間味島	阿真耕作地	城辺いこいの森	増原	長北海岸	ひょうたん池	大東神社	バナナ公園西側	宮良耕作地		空港周辺	吹通湿地	富野林縁
林縁	林縁	河川	河川	湿地	草地/耕作地	湿地	草地/耕作地	林縁	林縁	湿地	草地/耕作地	林縁	草地/耕作地	海岸	湿地	森林	林縁	草地/耕作地	草地/耕作地	湿地	林縁	河川			
予防種	コウトウタチバナ	2				1								2	3				3	1	1				7
	ベンガルヤハズカズラ								3				3		3										3
	外来アゾラ類				4		4	3																	3
	タチバナアデク		1									3													2
	キダチチョウセンアサガオ			2						1															2
	園芸スイレン				3						3						3	3					3		6
	オオバナイトタヌキモ				3																				1
	ヨルガオ																						3		1

※表内の数字は外来植物の生育規模を表す

ヨルガオを除く7種については、平成30年8月の公表時に「予防種」から「対策種」に移行した。

平成31年度調査では予防種に該当する種は確認されなかった。



コウトウタチバナ (沖縄島南部中山)



ベンガルヤハズカズラ (宮古島城辺いこいの森)



外来アゾラ類 (沖縄島中部照間イグサ水田)



タチバナアデク (沖縄島南部真境名)



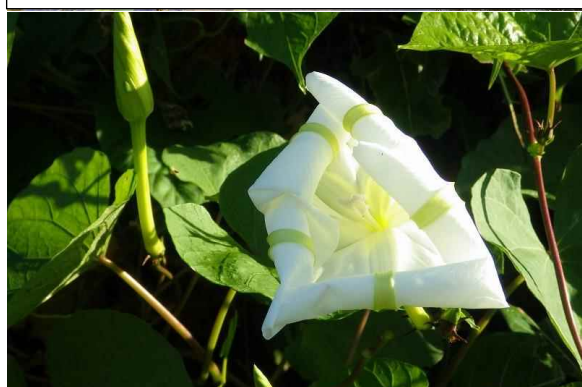
キダチチョウセンアサガオ (沖縄島南部牧港川)



園芸スイレン (沖縄島北部大保川周辺溜池)



オオバナイトタヌキモ (コンベンションセンター)



園芸スイレン (沖縄島北部大保川周辺溜池)

写真 2-1-4.2 今回の調査で逸出が確認された予防種